

令和5年度 学校経営計画に対する自己評価(中間報告)

輪島市立輪島中学校

重点事項	評価内容	評価の観点	主担当	評価基準	評価 ()は昨年度同時期	改善策等
確 か な 学 力	輪 島 中 授 業 ス タ イ ル の 確 立	まとめ、振り返りのある授業を行っている ア あてはまる イ どちらかといえばあてはまる ウ どちらかといえばあてはまらない エ あてはまらない	指 導 力 改 善 チ ーム ・ 研 究 推 進 チ ーム	生徒アンケート(平均) A…ア 80%以上 B…ア+イ 90% C…ア+イ 80%以上 D…ア+イ 80%未満	ア 64.2%(73.3) ア+イ 95.7%(96.0) 判定B	まとめ・振り返りを自分の言葉で書けるように板書に生徒の発言やキーワードを残し、利用できるようにする。
		根拠・理由をもとに考えを書いている ア あてはまる イ どちらかといえばあてはまる ウ どちらかといえばあてはまらない エ あてはまらない		生徒アンケート A…ア 80%以上 B…ア+イ 90% C…ア+イ 80%以上 D…ア+イ 80%未満	ア 51.6%(51.8) ア+イ 94.2%(89.4) 判定B	問い返し発問などで様々な見方・考え方に気づかせ、生徒の思考の深まりにつなげる。
		授業の中で学び合い活動をしている ア できている イ だいたいできている ウ あまりできていない エ できていない		生徒アンケート A…ア 80%以上 B…ア+イ 80%以上 C…ア+イ 70%以上 D…ア+イ 70%未満	ア 53.3%(49.8) ア+イ 97.7%(91.1) 判定B	学び合い活動の必要性のある授業構成にする。相手に考えをわかりやすく伝えるため、根拠や筋道を明確にして、自分の言葉で伝えさせる指導をする。
		ICT機器を活用した授業をしている ア できている イ ほぼできている ウ あまりできていない エ できていない		教師アンケート A…ア 80%以上 B…ア+イ 80%以上 C…ア+イ 70%以上 D…ア+イ 70%未満	ア 62.5%(57.7) ア+イ 95.8%(92.3) 判定B	これまでの実践をもとに教科の特性に合わせて、授業の導入や考えの共有などに積極的に活用していく。
学 習 規 律 の 徹 底	学 習 規 律 の 徹 底	授業の約束4か条を守っている。 ア 守っている イ だいたい守っている ウ あまり守っていない エ 守っていない	学 習 基 盤 チ ーム	生徒アンケート A…ア 80%以上 B…ア+イ 90% C…ア+イ 80%以上 D…ア+イ 80%未満	ア 63.6%(66.9) ア+イ 94.1%(93.0) 判定B	授業チェックファイルを活用していくことを職員間で再確認する。生活委員が着ベルチェックを行う。繰り返し名前が挙がる生徒は個別に指導する。
		英語検定合格率 目標 1年5級 80%(76人) 2年4級 70%(75人) 3年3級 50%(62人)		全校の目標達成率 A…70%以上 (227人) B…60%以上 (195人) C…50%以上 (162人) D…50%未満	1年5級以上10人 2年4級以上8人 3年3級以上21人 12.0%(12.0) (9月時点)	夏休みに目標級の単語リストを配布し、宿題として書き取り練習をさせる。3回の受検機会のうち、2回目を全員受検とし、英語の授業開始10分を利用して問題演習に取り組ませる。
英 語 検 定 合 格 の 取 組	英 語 検 定 合 格 の 取 組	英語検定合格率 目標 1年5級 80%(76人) 2年4級 70%(75人) 3年3級 50%(62人)	学 習 基 盤 チ ーム	全校の目標達成率 A…70%以上 (227人) B…60%以上 (195人) C…50%以上 (162人) D…50%未満	1年5級以上10人 2年4級以上8人 3年3級以上21人 12.0%(12.0) (9月時点)	夏休みに目標級の単語リストを配布し、宿題として書き取り練習をさせる。3回の受検機会のうち、2回目を全員受検とし、英語の授業開始10分を利用して問題演習に取り組ませる。

重点事項	評価内容	具体的な取組	主担当	評価基準	評価	改善策等
確かな学力	家庭学習の取組	家庭学習目標時間の達成率 1年70分 2年80分 3年90分	学習基盤チーム	家庭学習時間調査 A…80%以上 B…70%以上 C…60%以上 D…60%未満	1年 53.0%(39.7) 2年 52.5%(54.3) 3年 67.7%(45.0) 判定D 57.7%(46.3%)	家庭学習の重要性を各学年で定期的に指導する。授業内容につながる宿題を教科担当ごとにホワイトボードを利用して、週1回以上出題する。
豊かな心	清掃活動への取組	無言で清掃に取り組んでいる ア できている イ だいたいできている ウ あまりできていない エ できていない	生徒指導部	生徒アンケート A…ア 90%以上 B…ア+イ 90%以上 C…ア+イ 80%以上 D…ア+イ 80%未満	ア 46.2%(54.1) ア+イ 88.6%(90.4) 判定B	無言清掃のねらいを職員間で再確認する。様々な活動を無言清掃で培っている力につなげて価値づけする。
	自治的・自発的な生徒会活動	委員会活動や係活動に意欲的に取り組んでいる ア できている イ だいたいできている ウ あまりできていない エ できていない		生徒アンケート A…ア 90%以上 B…ア+イ 90%以上 C…ア+イ 80%以上 D…ア+イ 80%未満	ア 62.8%(60.7) ア+イ 97.3%(98.0) 判定C	委員会活動や係活動について、リーダーと打合せを行い、なるべく生徒たちにさせてみる。その後、振り返りを行い、成果を認める。
	ヘルメットの着用	ヘルメットを着用している ア できている イ だいたいできている ウ あまりできていない エ できていない		生徒アンケート A…ア 90%以上 B…ア+イ 90%以上 C…ア+イ 80%以上 D…ア+イ 80%未満	ア 82.9%(86.9) ア+イ 97.6%(99.0) 判定B	ヘルメット着用の必要性を生徒、保護者に粘り強く説明する。定期的に登校指導、下校指導を行う。警察にも協力を依頼する。
信頼される学校	授業・行事の公開と周知	学校だよりや各種たより、ホームページによる教育活動の周知 ア よく見ている イ だいたい見ている ウ あまり見ていない エ 見ていない	教頭	保護者アンケート A…ア 50%以上 B…ア+イ 50%以上 C…ア+イ 40%以上 D…ア+イ 40%未満	ア 20.8%(20.2) ア+イ 60.6%(63.2) 判定B	学校だより等での周知が3分の2となっている。テトルを使つての連絡を活用するとともに、興味を持つ紙面づくりを心掛けていく。
	挨拶ができる	すすんで挨拶をしている ア できている イ だいたいできている ウ あまりできていない エ できていない		生徒アンケート A…ア 60%以上 B…ア+イ 80%以上 C…ア+イ 80%以上 D…ア+イ 80%未満	ア 60.2%(54.4) ア+イ 95.3%(92.1) 判定A	保護者アンケートでは、ア+イで85.6%と、生徒との差がある。顔を見て、伝わる声で挨拶できるよう、継続して指導していく。
勤務負担の軽減	教職員の働き方に関する意識改革	1か月の時間外勤務時間が80時間を下回る割合	主幹	勤務時間調査 A…ア 90%以上 B…イ 70%以上 C…ウ 50%以上 D…エ 50%未満	ア 91.6%(90.4) 判定A (108人, 4~7月)	80時間以上超過 4月 1人 7月 2人 5月 5人 6月 1人

